

# 千葉市

千葉県

使用用途

住民移動

運行車両

7人乗り：3台



## グリスロに乗って、素敵なまち・ひとと会える



住民ボランティアが活躍中！  
運行形態は住民の意見を反映して策定。  
**課題解決のアイデア出しや実現まで主体的に！**



まちの小さな変化を発見！  
顔なじみがどんどん増える！  
子供にも大人気♪

導入地域	千葉市内 3 地域：桜木地区、都賀の台地区、幕張ベイ地区
購入者	千葉市役所
運用主体	住民ボランティア（サポート：千葉市交通政策課）
ドライバー	住民ボランティア ドライバー担当
財源調達(導入時)	市の予算+二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域の公共交通 × 脱炭素化移行促進事業)の活用
財源調達(運用時)	市の予算(車両維持費等) + 自治会・企業協賛金(日常運営費等)
位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通へのアクセスが困難な地域や、回遊性向上が望まれる地域への導入</li> <li>「支え合い交通」として、地域住民とともに、地域の移動ニーズにきめ細かく対応し、交通モード間の切れ目のない移動手段を確保</li> </ul>
運行形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>週 3 日(地域毎に決定)</li> <li>無料</li> <li>定時定路線：買い物先、公共施設、病院、駅等をつなぐ</li> </ul>
運用実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>桜木地区：2023年4月～、都賀の台地区：2023年11月～、幕張ベイ地区：2024年4月～</li> <li>月平均乗車人数 550 人</li> </ul>
地域課題・導入背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>モノレール駅への公共交通がないため、モノレールを利用しづらい。</li> <li>住宅地内に商店や医院など生活拠点施設が点在しているが、狭い道路を高齢者がマイカーで移動している</li> <li>まちの様々な課題を解決し、希望を持って暮らし続けられる街にしたい(日々の楽しみ、孤立防止、商店街の活性化等)</li> </ul>
導入・運用のハードル克服	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転手ボランティア不足を解消 ➡ 祭などの地域イベントにて体験試乗会を行い、認知度 UP！</li> <li>運営資金の不足 ➡ 理念に共感いただいた沿線企業から協賛金を GET！お礼に広告掲載や特別乗車会を進呈！</li> <li>駐車場所がない ➡ 市や地元企業と交渉し、公民館や企業の所有地にて駐車場所確保！</li> </ul>

### 利用者の声

- スーパーや区役所、モノレール駅への外出がしやすくなった。
- グリスロ車内でのコミュニケーションが楽しい。
- まちの人同士のコミュニケーションが増えた。

地域で愛着をもって愛称をつけています。

ボランティア人数は地域によって様々です。

(2025年5月現在)

	愛称	住民ボランティア
桜木地区	さくらまる	約 45 名
都賀の台地区	おさんぽバス	約 10 名
幕張ベイ地区	ペイ太くん	約 60 名



ボランティアには、運行ごとに  
「ちばシティポイント」を付与  
ポイントは WAON ポイント等に  
交換可能！

### こんな効果も

ベイタウンに以前から  
住む住民と、  
ベイパークに住む  
若い住民との交流が進んだ。



千葉市  
グリスロの取り組み  
詳しくはこちら



観光地周遊

住民移動